

株式会社産業経済新聞社サンケイスポーツでのインターンシップ体験レポート

実習の内容

新聞の制作業務について説明を受けたのち、取材現場に同行しました。

実習で学んだこと

編集者会議では現場の空気・様子から新聞を作ることの難しさや、より良い新聞を作るための大変さを感じました。取材に行ったときには、取材前後の時間も含めて長時間に及ぶことや、関係者の多さや慌ただしさに圧倒されました。記者の皆さんと一緒に同行させていただくことで、仕事をする上での姿勢といったものを学ぶことができました。私達が普段何気なく読んでいる新聞がこのような大変な作業の上に成り立っているということがわかり、私にとってとても有意義なものになりました。このインターンシップで得た経験をこれからのことに生かしていきたいと思います。



実習を終えて

新聞がどうやって作られているのか、どのように情報が集められているのか、その情報がどのように整理され新聞として発行されるのかを体験として学ぶことができました。取材では、生の現場の様子を見ることができて、有名な選手もそばで見ることができ、感動しました。この経験をしたことで新聞に対する考え方がまた一つ変わり、これからは今までと違った視点から新聞を読むことができると思います。私にとってこれから仕事をする上で重要なことを学べる良い機会になったと思います。



2014年8月

社会学部経営社会学科3年 田口佳介

(写真協力：株式会社産業経済新聞社サンケイスポーツ)